

初夏のクマに注意！

新緑の時期が過ぎて、柔らかい葉や茎が食べられなくなる初夏は、クマにとっては食物が乏しい季節です。同時に、6・7月はクマの発情期でもあるため活動的で、広い範囲を足早に行動します。そのため、人と遭遇する機会も多く、人身被害の発生が懸念されます。

これから山に出かける方は、クマと出遭わないよう、次のことにご注意ください。

山では、「クマに会わない」対策を実施しましょう！！

昨年的人身被害は、山菜採りなどで起きています！

◇朝夕は山中に入らない。

・クマは朝夕に活発に動きます。

◇グループで行動する。

・山中では単独行動を避け、グループで声をかけあって活動し、クマに人の気配を伝えてください。

◇鈴、笛、ラジオなど音が出るものを携帯し、クマに自分の存在を知らせる。

・クマは聴覚や嗅覚が人より優れているため人の接近を察知し、人を避けます。

◇子グマを見たらそっと立ち去る。

・小グマの近くには必ず母グマがいます。母グマは子グマの危険を感じて人を攻撃することがあります。子グマがかわいいからと近づいたりしないでください。

◇山菜採りはほどほどに。

・ネマガリダケのタケノコ(通称ススタケ)はクマの好物です。タケノコの多い林にはクマもいることが多いので、足跡や糞などを見つけたら引き返しましょう。

◇不測の事態に備えて。

・注意していてもクマと近距離で出遭う場合があります。防御策として、ヘルメットの着用が頭部の被害を軽減できます。また、接近してくるクマにはクマ撃退スプレーが効果的です。山仕事などで頻繁に入山する方は携行することを勧めます。



ツキノワグマの足跡
(前足と後ろ足)



ツキノワグマの糞



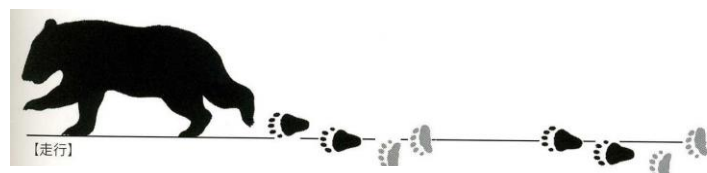
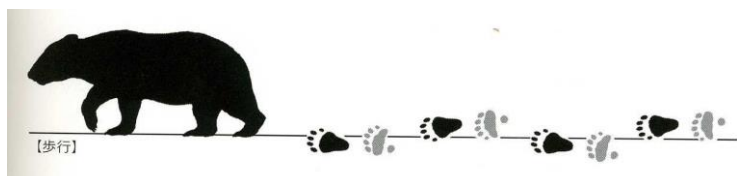
クマ撃退スプレー

◆クマを目撃したりクマの痕跡を見つけた場合は、直ちに市町村に連絡してください。

◆クマ撃退スプレーは、登山用具店で購入することができます。

◆平成31年 ツキノワグマの目撃痕跡情報

URL http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1709/kj00020161.html



【参考文献】米田一彦 (1996)「山でクマに会う方法」、米田一彦 (1998)「生かして防ぐ クマの害」

今泉忠明 (+平野めぐみ) (2004)「野生動物観察事典」